



未来に伸びゆく那覇っ子

～ともに歩こう～

令和5年 6月 12日発行

校長 新川 美紀

《5月のお話朝会…那覇小のSDGs》

SDGは2015年に決められた目標で、2030年までに世界中の誰一人残さず、みんなが幸せになるために、解決すべき17の目標(ゴール)が掲げられています。

SDGs(えすでいじーず)は、みんなが幸せになるための目標(ゴール)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGs

SDGsに取り組むためのルールや決まりはありません。何を頑張っていくのかは、私たち一人一人に任されているからです。

その中で学校は、4番の目標「質の高い教育をみんなに届ける」に向かって取り組みます。4番は17の目標に全て繋がる大事なものだからです。

あなたが、今みんなが幸せになるためにしていることはありますか？

5月のお話朝会では、那覇小がSDGsに取り組んでいくために、日常のことから考えてもらいました。左は最初の質問です。

「みんなが幸せになるために」と考えていることがポイントです。残念ながら今回は「SDGs」が自分事になっていないため、高学年でも口に出る子はほとんどいませんでした。それで一人一人が自分で出来そうなことを実行していくために、那覇小で起こっていることを例を挙げながら考えてもらいました。

あなたは誰にでもさわやかなあいさつをしています？

明るい声で心をこめて顔を見て

1つめは挨拶。運営委員会があいさつ運動を5月中旬から行いましたが、那覇小のお客さんに「明るい声で心をこめて相手の顔を見て」あいさつが出来た子がたくさん増えて欲しいと願っています。特に高学年はお手本を見せてくれると、下級生がまねをして早く上手になります。

2つめは安全面。廊下や階段を思いっきり走る子が多くて危険なのです。この話の後から給食準備中は、気を付ける子が増えました。

みんなが廊下や階段を走ったら幸せで、すてきな学校になる？

校長室前や職員室前も気を付けて歩こうとしてくれている感じです。階段や教室前廊下も安心して歩けるように走らないでくださいね。

みんながたたいたり、けんかしたり、嫌なこと言ったりしたら、どう？

みんなの落とし物、わすれ物がずっとそのままだったら、どう？

3つめは情緒面から。子供のけんかは日常茶飯事ではありますが、叩く蹴るといった暴力行為や嫌なことを言うという行為は、子供であっても許されることではありません。

忘れ物が多いことや落とし物も記名があってもそのままでは「使う責任」を果たせていません。また、トイレをきれいに使うのも使用後にスリッパを並べるのも、「使う責任」です。

どっちがいい学校かな？

あなたならどうする？

こうだったら、いいのにな！

毎日の「朝の活動」や「清掃活動」も「トイレの使い方」「スリッパ並べ」も自分で考えて出来ることです。

那覇小学校は…SDGsへ取り組みます

あなたが、みんなのために今年取り組むことは何ですか？

あなたが考えて続けるとみんなが幸せになる！すぐ行動しよう！

一人一人が心を込めて丁寧にすることで、一緒に過ごすみんなが気持ちよく使うことが出来、幸せな気持ちでいられます。

小さなことでも1つずつ続けて行動してみましょう。